

「災害時のリスク管理と事業継続計画」を開催

(独法) 高齡・障害・求職者雇用支援機構（ポリテクセンター和歌山）の委託事業として、「災害時のリスク管理と事業継続計画セミナー」を10月27日、11月9日の2日間にわたり、講師にクロスパートナー㈱の黒川久生氏をお迎えし開催した。

始めに、「コロナ危機を踏まえた事業継続計画（BCP）と事業継続力強化計画について」と題し、新型コロナウイルス対応の基本方針や考え方など要点を整理しながら解説した。

加えて南海トラフの巨大地震を例に挙げ「和歌山で事業を継続するうえで、30年以内に70～80%発生すると言われている。南海トラフ地震の想定は不可欠。正しい危機を認識し世代を超えて備える取組みが急務である。」と強調した。

次に、各企業に沿った、具体的な事業継続計画の作成方法を解説。参加者はパソコンを使用

し、各企業独自の事業継続計画の作成を行った。

最後に、各々が作成した、事業継続計画が機能するか、ワークショップを通じてシミュレーションを行った。「BCPは作成してから現場でブラッシュアップしていく必要がある。各部署の担当者と話し合うことが大事である。」と締めくくった。

参加者から、「想定している以上のことが次々と起こるため、各部署の連携が必要。また、1人1人の意識を変えていくことが重要と気づかされた。」などの意見があった。

